

令和8年8月24日

「スポーツを通じた体験型防災教育プログラム」 ＜記者発表イベントのお知らせ＞

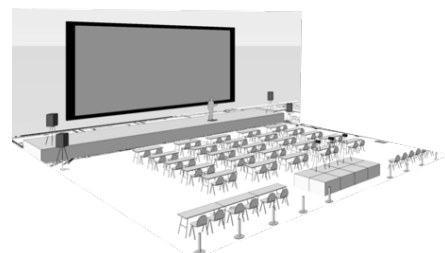
○スポーツ庁では、令和7年度から「スポーツを通じた体験型防災教育プログラム」の開発及び全国への普及に取り組んでいます。

○9月1日（火）の「防災の日」に合わせて、防災分野の学識経験者やスポーツ関係者とともに、同プログラムの記者発表イベントを行います。

1. イベント概要（予定）

- 日時：令和8年9月1日（火）10：00～12：00（受付開始9：30）
- 場所：文部科学省東館3階 講堂
- プログラム内容：
 1. スポーツ庁長官からの挨拶
 2. パネルディスカッション
 3. デモンストレーション
- 登壇予定者：
 - 臼田裕一郎（防災科学技術研究所 社会防災研究領域総合防災情報センター長）
 - 永島昭浩（日本サッカー協会 JFA リスペクト委員会防災・復興支援部会部会長）
 - 森岡裕策（日本スポーツ協会 専務理事）
 - 山本恵理（日本財団パラスポーツサポートセンターDE&I プログラム推進部ディレクター、パラアスリート）
 - 河合純一（スポーツ庁 長官）
 - 中村宇一（スポーツ庁 健康スポーツ課長）
- 参加予定者：スポーツ・防災関係者など

▼会場イメージ



2. イベントの見どころ

パネルディスカッション

「スポーツ×防災」をテーマとし、スポーツが持つ価値による防災への貢献や、これまでの防災に対する取組などについて議論します。

デモンストレーション

「スポーツを通じた体験型防災教育プログラム」の一部を、登壇者やイベント出席者に体験していただきます。

3. 取材方法

- プレスイベント取材受付は、**8月28日（金）18時まで**行います。
- 当日の取材を希望する場合は、申込フォームより必要事項を記入願います。
- 入場の際には、名刺及び社名入りの腕章を携帯してください。
- 取材希望が多数の場合は、調整させていただく場合がございます。その場合は個別に御連絡をさせていただきます。
- 入館には事前申請を要するため、取材を希望される場合は必ずご登録ください。
- 各社のカメラ撮影位置の決定は、先着順とします。
- 公務の都合等により時間の変更等の可能性があります。

<取材申込フォーム>

[「スポーツを通じた体験型防災教育プログラム」 記者発表イベント 取材申込フォーム – フォームに記入する](#)



※ページ下部の「送信」ボタンを押すと、「回答を記録しました」という画面が表示されます。

なお、申込完了メールはシステム上で送信されませんので、あらかじめ御了承ください。

（申込者には、後日資料等をメールでお送りします。）

4. 「スポーツを通じた体験型防災教育プログラム」とは

<特徴>

- * 体を動かす複数のミッションに挑戦しながら「判断力・行動力・協力意識」を自然に身につける**スポーツを通じた体験型防災教育プログラム**
- * 従来の防災訓練とは異なり、**スポーツが持つ競技性・ゲーム性の要素**を取り入れることで参加者の意欲を高め、記憶に残る学習体験を提供

<3つの狙い>

- ①**行動につながる防災理解の実現**
⇒ 体を動かす体験を通じて、防災を「知っている」状態から「実際に行動できるイメージが持てる」状態へつなげる。
- ②**対象に応じた防災力の育成**
⇒ 青少年には防災への関心と体感的な理解を、地域住民には現実的な判断力と実行力を重視し、対象に応じた学びを提供する。
- ③**共助を前提とした防災意識の醸成**
⇒ 協力して行動する体験を通じて、災害時に必要な共助や役割分担の大切さを学ぶ。

<防災分野の主な課題の解決に寄与>

防災訓練の認知が進む一方、不参加率が増加

災害対応力の地域格差

若年層の関心低下

<スポーツ分野の主な課題の解決に寄与>

子供の外遊びの減少・体力低下

健康意識が高まる一方、女性のスポーツ実施率は低迷

特に「子育て・働き盛り世代」のスポーツ実施率が低い。

**スポーツを通じた体験型
防災教育プログラム**

スポーツを通じた体験型防災教育プログラム(主な種目例)

避難所シャトルラン



概要

各避難所が何を必要としているかを確認し、物資を正しく運び終えるまでのタイムと正確性を競います。赤ちゃんやペットを連れて避難している人、体温調節が難しい環境に置かれている人など、避難所には多様な事情を抱えた人がいることや、適切に物資を行き届かせるためにどうすれば良いかを体験を通じて学びます。

狙い

避難所ごとに異なる状況やニーズを把握し、限られた時間と資源の中で「誰に・何を・どの順で届けるべきか」を判断する力を育成することを狙いとする。



防災クイズシュート



概要

複数の答えがある防災クイズが出題されます。参加者は、選択肢が割り当てられたバスケットボールやサッカーゴールに、シュートを決めることで解答します。体を動かしながら考えて、楽しく防災の知識を学んでもらいます。

狙い

防災に関する基礎知識を、身体を動かしながら判断する形式で学ぶことを狙いとする。



くぐれ！スモークロード



概要

バーやネットのある10m程度の区間を、低姿勢でかがみながら進み、ゴールまでのタイムを競います。ゲームを通じて、建物内で火災にあった際の避難の姿勢や避難時の注意点などを学びます。

狙い

火災時の避難姿勢や移動方法を身体で覚えることを狙いとする。



津波の速さを体感しよう！5mスプリント走



概要

5mという短い距離を全力で走ってもらい、タイムを計測します。測定後には、津波が押し寄せてくる速さを同じく5mの所要時間に換算した秒数を告げ、津波の来る速さを知ってもらい、迅速な避難や垂直避難の重要性を伝えます。

狙い

津波の速さを自身の走行スピードと比較することで、「想像」と「現実」の差を体感的に理解させることを狙いとする。



<担当> スポーツ庁健康スポーツ課

健康・体力づくり係 渥美 亮太

小林 拓也

電話：03-6734-2998（直通）

Email: kensport@mext.go.jp